



Let's do it now!

2022に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021年度
西日本区理事 古田 裕和

毎月思うことの一つに今月は新型コロナウイルスのことについては触れないでおこうということがあります。しかし、なかなか収まってくれないのが現実です。西日本区内でも愛知、京都、大阪、兵庫、福岡に緊急事態宣言が発出されました。発出されていない県においてもまだまだコロナの感染者が多いという状況です。そのためリアルの例会開催が難しいクラブが増えたように思います。

1月のブリテンは、年の初めらしくメンバーの今年の抱負を掲載されているクラブも多かったように思います。その中で私が惹かれたのは「自立、自助、自動を前向きに」という言葉でした。特に自動、自ら動くことは大変大切なことですが、特に今の時代必要なことだと思います。またあるクラブのブリテンには次のようなことが書かれていました。「クラブの事業も新型コロナ禍の中であって何もできないではなく、その中で何かできることがあるのではないかと、できることを考えて実行してみよう。マンネリになっていませんか？目的を忘れずに時代・時節にあった事業を考え、新しいことを提案し、そして挑戦してみましょう。」

このような前向きな考え、そして実行する力が普通ではない今、最も必要なことだと思います。みんなで力を合わせて乗り切っていきましょう。

献金の話を少しさせてください。期首に皆さまにお願いしている各事業の献金ですが3月15日が締め切り日になっています。あと1ヶ月あまりで締め切りになります。ただ、今メンバーが集う機会が減っているなどの理由で献金を集めることが難しいという声も聞きます。例年のように集めにくいという事情はよくわかりますが、クラブで工夫していただき送金していただけるようよろしくお願いします。各事業献金以外にレガシー基金1名あたり1,000円もお願いしていますので、こちらの方も忘れずにお願いします。

そして1月はワイズメンズクラブ国際協会設立100周年記念事業と位置づけしている東西日本区交流会の第1回委員会が開催されました。開催時期としては2023年の1月か2月そして西日本区が主導して行う。開催場所は西日本区内で開くことも可。ということまで話し合いが行われました。また今後も報告していきます。

また今期よりアジア・太平洋地域で発刊されることになったアジア・太平洋地域ブリテンですが2月に発刊されるブリテンには西日本区の特集が組まれていますので楽しみにしておいてください。

最近ASDリエゾンの山田公平ワイズ(宇都宮クラブ)から発信された話があります。

それはワイズメンズクラブのないアジア地域のYMCAに呼びかけて一緒にワイズメンズクラブを作り、YMCAのサポーターとして新しくできたワイズメンズクラブがYMCAを支援していくという話です。すでにアジアの中で動かれていてミャンマーYMCA同盟やミャンマー国内のいくつかのYMCAがワイズメンバーの候補者を12~18名集めているそうです。そこでそのワイズメンズクラブのスポンサークラブを日本国内からも募集しようということでした。このことについてのもう少し詳しい内容はまとめさせていただき、各部長、各クラブ会長宛に至急配信させていただきますのでよろしくお願いします。

■今月の聖句 2021年2月

大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。

コリントの信徒への手紙1 3章7節

聖書の小窓「大切なことは」

コロナ禍が続く、例会に集えない日が続きます。ZOOMやネットを活用して活動を継続していかねばなりません。まだ終わりが見えないコロナとの日々を過ごしています。

あたりまのことがあたりまえでなかった。なにも感じずに過ごしてきた日々が、恵みにあふれていたことに気がつかされました。ワイズ活動のつながり、出会い、そして集まることの大切さを実感しています。

「たいせつなこと」という絵本を読みました。その一節です。

「くさは みどり くさは おおきく のびて あまく あおい においで やさしく つつみこんでくれる
でも くさに とって たいせつなのは かがやく みどりで あること」。なるほどだと思いました。

ワイズにとって「たいせつなこと」って何だろう。

人から見て大切なことと、自分にとって大切なことはち違ふのだなど。自分が自分として大切にしていることを考えようと思いました。ワイズ活動も何が大切かを教えられる日々がもう少し続きます。

日本福音ルーテル広島教会(松山教会兼務) 牧師:立野泰博

■YMCA報告

2月23日に YMCA大会をオンラインで開催いたします。

2020年10月には新型コロナ感染拡大が、一時的な落ち着きをみせたため、全国のYMCAでは、2週間の隔離期間の条件などの下、日本語学校への後期入学者が微増しました。また、ステップⅡ研修のオンライン実施、全国チャリティランのバーチャル開催などにもチャレンジして取り組んできました。コロナ禍で困難の中にある方たちへの支援につながるための、ポジティブネット募金、国際協力募金活動も継続し、国内外の支援も行い、企業との共同企画などで、バザーや、新しい形でのプロジェクト型寄付を募ることが出来ています。特に、Amazonより「誰もがテクノロジーで世界を変えられる」をテーマに、プログラミング開催支援を受け、全国のYMCAで、伴走サポートプログラムを展開してきました。

2月23日には、2年に一度の開催をしてきた、「YMCA大会」をオンラインで開催しますが、新しい社会の中で、全国のYMCAのユース、ミドル、シニアがどのようにして集い、ふれあい。そして交わるかは、今後とも継続した課題であり、challengeとなってくるはずです。ワイズメンズクラブの皆様とのパートナーシップの推進はもとより、どのようにして、ワイズメンズクラブ100周年を覚え、伴走し、プログラム化できるかは、大切な価値を、新たに確認し、前進していくための重要なテーマとなってきます。まずは、2月23日に開催されるYMCA大会のことを覚えていただければ幸いです。内容は、別途ご案内、ご紹介させていただきます。

日本 YMCA 同盟
担当主事 光永尚生 (三島)

■2月の西日本区強調月間

TOF・CS・FF

“一人一人の思いが、環境を守り、命を救います”

地域奉仕・環境事業は、皆さまの温かな気持ちを形にできる事業です。

今、困難にある世界&日本の人々を忘れずに、SDGsの目指す

「誰も置き去りにしない社会づくり」を指標とし、

皆さまの活動を応援いたします。TOF・CS・FF・RBM(ロールバックマラリア)の4事業の献金目標は一人当たり4,500円です。

献金の締め切りは3月15日です。

皆さまのご協力をお願いいたします。



地域奉仕・環境事業主任

藤好 基子 (大阪なかのしまクラブ)

■九州部メネットアワー報告

1 2月5日土曜日に、鹿児島国際交流センターにおいて九州部メネットアワーをハイブリットにて開催しました。

1 2月5日土曜日に、鹿児島国際交流センターにおいて九州部メネットアワーをハイブリットにて開催しました。臨床心理士の児玉さら先生をお迎えしまして「コロナ禍の現状が子どもに与える影響～スクールカウンセラーを通じて見える子どもと家庭も含めて～」と題して講演をしていただきました。

講演内容から聞く日本の子どもたちの現状は、様々な事を考えさせられる内容でした。子どもは、大人の世界の影響をまともに受けるのだと学びました。よく「あの人は空気が読めない」と言いますが、これが子どもの世界に、人の顔色を見て判断し、自分の判断に自信を無くす世界をつくってしまい、人に合わせる事に疲れてしまう現状があるとは考えてもみませんでした。また、ネットの世界の発展によって、時間をかけて考える機会を失いつつあるのは、大人の世界でも同じです。そして、生活苦による子どもの困難や、未来への失望感があること、子どもの自殺にも影を落としていること（いじめは若年層自殺者全体の2%弱しかない）も知りました。子どもでいられる時間と世界を、いかに確保してあげられるかが大切だと教えられました。YMCAの働きもそのひとつではないでしょうか。私たちの世代が作り上げた世界です。私たちには責任があると痛感しました。改めて子どもたちとの関わり方の重要性を知る講演でした。これからのワイズ活動に活かしていきたいと思えます。



メネットアワー Zoom 参加の様子

九州部 部長
松永英明 (鹿児島クラブ)

■2020～2021年度 西日本区事業目標

2020～2021年度 西日本区事業目標

YMCAサービス・ユース献金（国際ASF含む） 1人あたり2,000円	YES（Y's Extension Support）献金 1人あたり500円
地域奉仕活動（CS）献金 1人あたり1,500円	災害支援金（東日本大震災・熊本地震復興支援金等） 合計200万円
TOF（Time of Fast）献金 1人あたり1,400円	E（Extension） 新クラブ設立 +4クラブ
FF（Family Fast）献金 1人あたり800円	MC（Membership&Conservation） 会員数増強 前期末+200名
BF（Brotherhood Fund）献金 1人あたり1,500円	情報発信 区報 年3回、理事通信 年12回
EF（Endowment Fund）献金 記念ごと献金 1口120CHF 合計3,000CHF	LT（Leadership Training） 次期役員研修会、次期会長・主査研修会 各1回
JWF（Japan West Y's Men's Fund）献金 記念ごとの献金 1口5,000円 目標 合計50万円	レガシー基金 1人あたり1,000円以上
RBM（ロールバックマラリア）献金 1人あたり800円	

■新しい仲間をご紹介します

1/9 入会 野田 彰充 京都ウエストクラブ

1/10入会 田村 勇人 京都東稜クラブ

1/13入会 佐藤 通彦 熊本にしクラブ

1/21入会 内畑 雅年 和歌山クラブ



■ワイズ×ビジネス 新たな「えん」の始まり

～ 縁、援、演、宴、円を基本に・・・～ K Y B 実行委員長 掛谷 太郎

去る令和2年12月5日、大阪Y M C Aにて関西ワイズビジネス交流会（以下、K Y Bという）の設立総会と大商演会（自社プレゼン大会）を開催いたしました。この会は、昨年度私が中西部部長の時に構想を練り、新生ワイズ起し運動特別資金を活用させていただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。また、西日本区役員をはじめ多くの方々にご参加いただいたことを感謝申し上げます。

さて、この会をご理解いただくために以下順を追って説明をさせていただきます。

○設立に向けた背景

私が所属する大阪茨木クラブでは、ここ数年E M Cにおいて決定的な結果が出ておらず、このままでは組織が硬直化してしまい一部の人だけへの負担が永遠に続いてしまう懸念があります。何度となく知り合い（現役で仕事を行っている方）をゲストスピーカーとして例会にお招きしましたが、入会に結びつく決定打を放つことができませんでした。そこで、日々多忙に経営を勤しんでいる方には、仕事や自分に役立つ何かしらの可能性を感じてもらうことも必要だと感じました。また同じ境遇の多くの方が交流できる場があれば既存のワイズメンを含めE M Cにつながるものだと考えK Y Bの設立を目指すこととなりました。

○大商演会(自社プレゼン大会) について

大商演会では、5つの部から1名にプレゼンをしていただき、各自の仕事内容の発表や会社のP Rをしていただきました。普段よく会う方の仕事の業種は知っているけど、具体的な仕事内容やどういったことを重視して事業を営んでいるかなど、ワイズとはまた違った面を知ることができ興味深く聞くことができました。このような大商演会や今後実施する事業で会員同士の交流が生まれ仕事に結びつくことも、K Y Bの一つの目的として捉えております。

○今後の予定について

現在新型コロナウイルスの影響で、今後の事業の実施が危ぶまれますが、研修会（大商演会を含む）、ゴルフ、ボウリング等、クラブ・部を越えた交流を通じて、ご自身の仕事にも役立ち、さらにK Y Bが活性化していけばE M Cにも繋がるものだと思います。まだ、最初の第一歩を踏み出したばかりで不安な点が多々ありますが、皆様のご協力、ご支援、ご参加をいただきワイズとはまた違った切り口でK Y Bを盛り上げていきたいと思っておりますので、ご賛同いただけましたら幸いです。

○ホームページを立ち上げました。

立ち上げたばかりでまだまだ発展途上ですが、今後内容の充実を図っていく予定です。ご興味のある方は会員のご登録をお願いいたします。

▶ 関西ワイズビジネス交流会 <https://kansai-ys-business.jp/>

○ K Y B 設立総会・大商演会の写真



▶ K Y B 設立総会・大商演会の実施動画(YouTube)

<https://youtu.be/5JSkiwTL8cQ>



■NEWコンテンツ!!是非お読みください!!



ワイズで自慢したい! 教えたい!知ってもらいたい わたしの横顔!

理事通信では各事業役員会などの情報を毎月、西日本区のワイズのみなさんに発信してまいりましたが、今期は新型コロナウイルスの影響により交流にも制約がありワイズとのふれあいも少なくなり、ワイズの皆さんは西日本区、各部の役員の皆様のあたたか〜い人間的な横顔を知らないのでは??と考えました。そこで特別企画として、お堅い話は一切ナシ!役員の皆様の意外な一面をクローズアップして楽しく読んでいただけるコンテンツとして「わたしの横顔」を企画することに致しました。



人生を変えた ボランティア

メネット事業主任
吉本典子 (熊本ジェーンズクラブ)

私は 3 姉妹の長女で父が旅行好きだったことから子どもの頃はよく家族旅行に連れて行ってくれました。

仕事は佐藤白蟻工業(株)代表取締役。三代目で昨年創業 100 周年を迎えました。24 歳で結婚しましたが 30 歳で離婚。20 歳のころ、熊本 Y M C A で野外リーダーを経験。しばらく Y M C A を離れていましたが、1993 年ワイズに入会し、翌年 1994 年、熊本ジェーンズクラブがホストで第 1 回西副区大会が開催されワイズの元気に魅了され、どっぷり浸かってしまいました。それからボランティアが楽しく、35 歳で J C に入会。

Y M C A で子どもたちとの牛の乳搾りキャンプは忘れられない思い出です。

2008 ~ 2009 年 第 12 代西日本区理事を務めました。

「海」が大好きで趣味は海に関する事全て。34 歳でヨットを始め、スキューバーダイビングで海外・日本の海を潜りました。今は年 2 ~ 3 回、姪夫婦たちとの温泉巡りが楽しみです。ワイズに入会して良かったこと。勿論、素晴らしい伴侶、貞一郎さんと出会ったことです。私の記憶では倉敷での第 1 回西日本区大会で紹介されました。(貞一郎さんは西副区大会で私のこと気になっていたそうです) 時は過ぎ、常議員議長を受けた時もアドバイスしてくれたり、西日本区役員会と一緒にいたり、この頃からお互いを意識しはじめたのかな? 横浜国際大会では噂になり、翌年 2011 年 12 月 11 日、結婚。お互いの親の介護があり、当初から別居生活。9 年間、週末婚です。私が体調悪い時は食事を作って来てくれます。まさか 60 歳になって年下の旦那様と結婚できたなんて夢のようです。何もしない妻ですが、貞一郎さんの愚痴を聞き、これからの人生、お互いを思いやり、仲よく楽しく過ごしていきます。



素敵な吉本夫妻のツーショット写真



音楽で飯を食おうと 考えていた少年時代

びわこ部 部長

西川裕介 (彦根シャトークラブ)

小学校6年生から始めたギターで、バンドを組みたいと思い、中学1年の時に友人4人とバンドを組み、音楽で飯を食おうと考えていた少年時代でした。私たちの世代には懐かしい、YAMAHAのポプコンで最高、関西四国大会まで行きました。家業を継ぐタイミングでもあり、プロへの道は断念しました。私共の彦根シャトークラブは、音楽好きが集まっていることもあり、みんなでバンドを結成し、様々な場所で活動し、聴衆の皆様にご迷惑をかけていた次第です。私は専門のベースを離れ、ドラムをたたいておりますが、ジャンルにとらわれず、利害もなく、好きな曲をみんなで演奏するのは楽しいものであります。しかしながら、コロナの影響で、中々スタジオにも入れず、寂しい時間が続いております。私共以外にも、ワイズのクラブでバンドをされているところもあるように聞いております。是非一堂に会して演奏する機会があれば楽しいだろうと思っている今日この頃でございます。



実はミュージシャンな西川部長

■部会情報

第32回 ハイブリッド阪和部会 「寄り添う!!忘れない!!」

2021年 2月20日(土)
14:00 開会～15:30 閉会

■会場

奈良メイン会場：奈良商工会議所
仙台会場：仙台 YMCA
和歌山会場：和歌山 YMCA
大阪会場：大阪南 YMCA

※zoom 参加可能な方は、ご自宅等からの参加をお願いいたします。

■会費

会場参加者：1,000円
Zoom 参加者：500円



■参加申込

クラブ単位で申込用紙にご記入の上、FAX またはメールにてお送りください。

■お問合せ

阪和部長／中井信一 第32回阪和部会実行委員長／林祐幸
ホストクラブ 奈良クラブ

■周年例会情報

京都パレスワイズメンズクラブ

クラブ設立 50 周年記念例会 延期のご案内

はじまりは YMCA から
Thanks! YMCA

2021年 5月23日(日)
17時開始 20時30分終了予定
ところ / 京都ホテルオークラ

※申込詳細については第3報にてご案内させていただきます。

お問合せ先 / 京都パレスクラブ 50 周年記念例会実行委員長 小林千春

■西日本区大会情報

Let's do it now

2022に向けて誇りを持って

All is well.

2021年 6月5日(土) / 6日(日)

ワイズメンズクラブ 国際協会

第24回西日本区大会

大会会場 / 懇親会 : ウェステイン都ホテル京都



■理事事務局から

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、書記(安井) および理事事務局長(高倉) までお知らせください。

安井 ▶

高倉 ▶

